



エルム



vol.61

発行日：平成31年1月11日

平成31年1月11日発行 編集・発行／社会医療法人 北楡会 札幌北楡病院 広報委員会 責任者／太田 秀一

HOKUYU INFORMATION

年始挨拶

新年あけましておめでとうございます。今年は5月に元号が新しくなるという特別な年になります。皆様方と共にそれぞれが願う方向に、猪突猛進できる年にしたいものです。毎年4月に病院に新しい仲間が加わります。辞令式に臨む彼らの瞳はキラキラとしています。人間は新しい環境に飛び込むとき、自分に高揚感があるときには瞳が輝くものなのです。

NHKのTV番組「チコちゃんに叱られる！」で、人気者の岡村君やゲストさんたちが「ボーッと生きてんじゃねえよ！」と、顔を真っ赤にした5歳のチコちゃんに叱られるのが、笑いを誘って人気番組となっています。でもチコちゃんは出場者の無知を怒っているのではなく、物事に興味を持たぬ生き方を叱ってくれているのです。

医学の進歩により我が国の高齢化は進み、年齢中央値は44.7歳と世界一の高さになっています。これからの中高年には生き方の質が問われており、丈夫な体とともに脳を活性化しておくことが重要となっています。物事を考えることは脳萎縮の防止に有効な方法ということは分かっています。脳を働かせるにはどんなことでもいいのです。例えば新しい元号を考えるなんて難しいことではなく、4月には答えが出ますし面白いかもしれません。

さらに精神的にも健康であることが重要なことです。沖縄には「なんくるないさー」という言葉があります。これには「挫けずに努力をしていれば、いつか良い日が来る」という意味があり、それまでは無駄に悩むことなく、リラックスして生きようということなのです。沖縄が長寿県なのはこんな気持ちの持ち方にあると思っています。

当院は開院以来今年で34年目になります。診療のための新しい機器の導入時や、患者さんにより良い環境を提供するために、今までに数度の改築を行ってきました。その中でも病室の全室無料個室化は、全国でも稀な病院として驚かれています。3年前の改修では地域包括ケア病棟と、緩和ケア病棟を新設して時代の要求に応えてきました。本年もスタッフ一同と共に切磋琢磨して、チコちゃんに「いい仕事してんじゃない！」と褒められるように心がける所存です。

副院長 高橋 修司

※私は安寧な治世を期待して「安治」と予想しました。

◆病院紹介シリーズ

リハビリテーション技術科

◆赴任のご挨拶

◆平成30年

北海道胆振東部地震について

札幌北楡病院 基本方針

1. 患者さんに公正な医療を提供します。
2. 患者さんの権利を尊重し、分かりやすい医療を行います。
3. 患者さんの安全を保障し、快適で安心して治療に専念できる場を提供します。
4. 高度医療を積極的に推し進めます。



リハビリテーション技術科

当院のリハビリテーションの概要

当院のリハビリテーション技術科には、理学療法士9名、作業療法士1名が所属しています。リハビリテーション技術科の業務は、身体に障害があり、寝返り・起き上がりなどの基本動作や、歩行動作などの日常生活動作の能力が低下してしまった患者さんに対して、関節可動域訓練や筋力増強訓練、歩行訓練などの運動療法や、温熱療法や電気療法などの物理療法を実施して、実用的な日常生活動作能力の獲得を支援することです。

2017年7月より作業療法士が加わり、応用動作能力や社会的適応能力の回復などを目的とした訓練も可能となり、より実用的な日常生活における活動の実現を目指しています。当院では、骨折や人工関節置換手術後の整形外科の患者さんだけではなく、開腹・開胸手術後の外科の患者さん、血液内科や消化器内科の患者さんなど、様々な患者さんに対してリハビリテーションを実施しています。

がんのリハビリテーションについて

当院では、がんの患者さんのうち、全身麻酔下での手術や抗がん剤の治療、造血幹細胞移植を実施(もしくは予定)している方に対してもリハビリテーションを実施しています。

がんのリハビリテーションで特徴的なことは、がんやその治療により生じた筋力などの身体機能や日常生活動作能力の低下に対して、改善を目的として実施するだけではなく、これから予想される身体機能や動作能力の低下を予防することを目的として実施していることです。がんのリハビリテーションは、がんに対して行う治療およびそれに伴って発生する副作用または障害などについて十分な配慮をしながら実施しています。

造血幹細胞移植の患者さんへのリハビリテーションについて

当院の血液内科では、化学療法や放射線治療、造血幹細胞移植を実施しています。

そのなかでも、造血幹細胞移植を実施する患者さんは、移植前に行われる化学療法や放射線での治療の副作用やその後の無菌室のような限られた空間での生活により、筋力が低下し、起立動作などの基本動作や歩行動作などの日常生活動作が困難になることがあります。最近の研究ではリハビリテーションを実施することでそれらに対して効果的であるとされています。

6年前より、当科では造血幹細胞移植を実施する患者さんの身体機能を把握するために、移植前、移植後30日、移植後60日に下肢の筋力、握力、バランス能力などの身体機能検査や骨格筋量などの体組成の評価を行っています。その結果からもリハビリテーションの有効性をみとめています。



また、このような評価をすることで、より詳細に他職種へ情報を提供することができたり、より客観的なリハビリテーションの効果判定が可能になります。特に移植を行う患者さん本人にそのような情報を提供することで、自身の身体機能の変化を捉えることができます。その結果によって、効果を実感したり、またはもう少し頑張らなければと考えたりと、リハビリテーションへのモチベーションの向上に繋がっています。

造血幹細胞移植の患者さんへのリハビリテーションの取り組み

当院では10数年前から、移植後のリハビリテーションを実施していましたが、すでに筋力が低下し、歩行困難になっていたり、副作用などによる体調不良によりリハビリテーションの実施が困難なことも多く、体調が改善しても筋力や動作能力が十分に回復せず、自宅への退院が困難な患者さんもみられました。

そのため、5年前より移植前からのリハビリテーションを実施しており、退院後の自宅での生活動作が円滑に行えるように支援をしています。

造血幹細胞移植前のカンファレンスは、医師や看護師のほか、歯科医師や歯科衛生士、薬剤師や栄養士、医療相談員、われわれリハビリテーションを担う理学療法士や作業療法士が集まり実施しています。

多職種のカンファレンスを実施することで各職種間の評価などの情報を共有し、意見交換をすることによって、より多角的な視点で問題点の抽出やゴールを設定し、患者さんやご家族、関わる医療者全てが共通の目標に向かって治療を進めることができます。

また、多職種でのカンファレンスは、より患者さん個人に合わせた効率的なリハビリテーションを実施するために欠かせないものとなっています。



リハビリテーション技術科
技師長代理 松浦 芳和

赴任のご挨拶

外科部長 高橋 宏明



昨年10月1日付けで北海道医療センターから北楡病院外科(消化器Bチーム)に転勤となりました高橋宏明です。前任地では臨床から徐々に管理職の仕事の比重を増やしつつあったところなので、現在臨床的勘をとりもどすべく日々勉学に励んであります。また、透析、シャント手術の経験はほほありませんが、北楡病院は透析医療を学ぶには大変恵まれた環境にありますのであわせてご指導を頂きたくよろしくお願い申し上げます。

では、簡単に生い立ちなどご紹介させて頂きます。生まれは室蘭で、高校は室蘭栄高校です。大学は北大で昭和60年に卒業し北大第一外科へ入局しました。先日歓迎会で丁度日本航空123便が御巣鷹山へ墜落した年ですと話をしたところ、若い方々にはずいぶん昔の話のようではかんとした顔をされていました。卒業後勤務した病院は、北大第一外科/麻酔科→市立三笠病院→市立稚内病院→北大第一外科→札幌厚生病院→札幌社会保険総合病院(現JCHO札幌北辰病院)→北大第一外科/開成病院/石狩病院→国立弟子屈病院→国立札幌病院(現北海道がんセンター)→市立稚内病院→苫小牧市立病院→国立西札幌病院→統合により北海道医療センターへ改称→札幌北楡病院となります。振り返ってみるとたくさんの病院で勤務してきたものです。途中、外科の小野寺先生、服部先生、石黒先生のお父様、腎臓内科の山村先生、血液内科の重松先生、消化器内科の常松先生、看護師では手術室の小笠原さんと一緒に働かさせて頂きました。また、大学では堀江先生にもお世話になりました。57歳という年齢で新しい環境に慣れるのは大変ですが、知っている顔が同僚にいることは大変心強く心の支えになっています。まずは病院に慣れるのが先決かとは思いますか、11月現在チコちゃんに「ボーッと生きてんじゃねーよ」と怒られそうな毎日です。できそうな事を見つけて積極的に手を出すようにはしておりますが、雑用でもなんでも気軽に仕事を言いつけてくれれば幸いです。



平成30年北海道胆振東部地震について

施設課長 掛水 和彦

平成30年北海道胆振東部地震により被害を受けられました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

札幌市は今まで、日本の中でも地震や台風などの自然災害が少ない都市と言われてきました。しかし近年、日本各地で大地震や豪雨水害、強烈な台風による想定外の被害が発生しています。

9月6日午前3時8分頃に発生した胆振東部地震では、北海道で初めて震度7を観測し、土砂災害など甚大な被害をもたらしました。当院のある白石区でも、今まで体験したことのない震度5強の揺れ観測し、災害が決して対岸の火事でないことをさまざまと痛感いたしました。

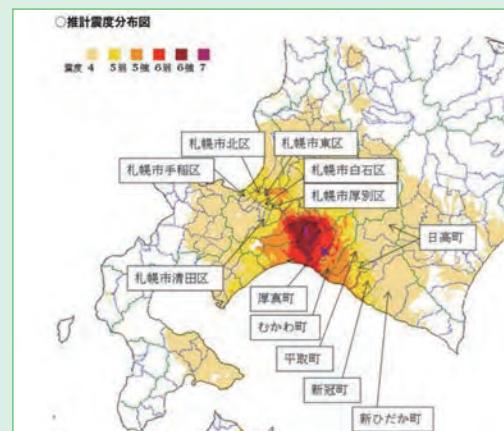
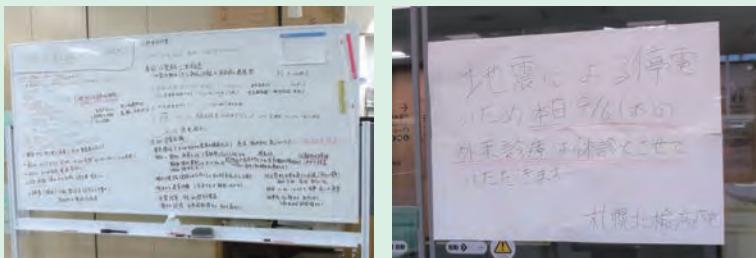
地震発生直後より、院長をはじめ多くの職員が病院に駆け付け、入院患者の安否の確認、ライフラインの確認、被害状況の確認などを行いました。未明には東棟・1階事務室に「災害対策本部」を立ち上げ、病院の方針を検討し決定いたしました。

当院は新耐震基準で建築されており、建物に大きな被害はありませんでした。ただ地震直後より北海道全域で発生した大規模停電は被害を更に拡大させました。現代社会における電気は全ての活動源であり、すべての機能を停止させます。当院でも13時間にも及んだ停電の影響は多大でした。

停電直後より全6台の自家発電機が稼働し、医療機器の運転・給水の確保・ナースコールの維持および透析治療は継続できました。ただし冷暖房および一般照明・コンセントの使用はできませんでした。検査機器も停電により使用できないため外来診療は休診としました。また、調理が出来ないため入院患者さんの食事は非常食対応となりました。

JR、地下鉄などの公共交通機関の全面停止により、出退勤にも影響が出ました。数時間かけて徒步出勤する職員、小さいお子さんが居るなど家庭の事情により出勤が困難な職員など、現場では混乱をきたしましたが、各部署で調整・協力をし合い、翌日には通常通り外来診療を行うことができました。

当院では、災害対策として“大規模災害マニュアル”“事業継続計画”などを策定し、年1回・所属長を中心に災害訓練を実施しています。今回の災害で、大きな事故がなく全職員で無事に危機を乗り越えた貴重な体験は、更なる防災意識の向上につながりました。新たに見つかった問題点などを検討して見直し、今後の災害に備えて行きたいと思います。



外来診察担当一覧

午前 午後

(平成30年11月9日現在)

	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	
内科 血液内科	小笠原 宮下 太田 皆内	小林 今村 高橋	今山 重松 小林	村川 岡田 千丈 【SO外来】 小林 (15:00~16:00) (完全予約制)	岩崎 皆内 重松	小林 小笠原 皆内 重松	今村 高原 岩原 笠原	小林 太田 岩原 笠原	宮下 内山 山川原	岡田 小高 橋田	今重 松千 丈	交代医師
消化器内科	片桐 小笠原	加藤 小笠原	高野	小笠原 片桐 須田 (13:30~14:30)	常松 片桐 須田 (13:30~14:30)	高久保	片桐	片桐 常松	久保 小笠原 (15:00まで)	久保 小笠原 (15:00まで)	交代医師	
腎臓内科								山村				
糖尿病代謝内科				※1澤村		※1澤村		澤村				
循環器内科				交代医師		交代医師						
外科	米川 (隔週) 後藤	目黒	服部 (隔週) 石黒	佐藤/石黒 (隔週交代) 久木田	目黒 服部 【フトケア外来】 (13:30~16:00) (完全予約制)	堀江 谷山	堀江 高橋	小野寺	久木田 佐藤	堀江	交代医師	
肛門外科	小野寺		宮下	山内	宮下	山内	小野寺		宮下	山内	交代医師	
腎臓移植外科 泌尿器科	三浦(9:30~) 東山			東山		三浦(9:30~) 東山		東山				
整形外科	東高橋		東		高橋		東		高橋			
小児思春期科	小林(邦) 小林(良)	小林(邦) 佐野	小林(邦) 鈴木	堀 アレルギー科 小林(邦)	小林(邦) 佐野	大島 島木	【血液外来】 小林(良) (完全予約制)	松島 小林(良)	堀 【血液外来】 ※2小林(良) (完全予約制)	堀 【血液外来】 ※2小林(良) (完全予約制)	交代医師	
スリーブ外来			高橋									
歯科 (完全予約制)		三浦			沼澤							
歯科 (完全予約制)	加藤	加藤/大畠		加藤		加藤/北大医師		加藤		加藤		
免疫細胞療法 (完全予約制)		小笠原		小笠原		小笠原 太田		小笠原		小笠原		

◎ 免疫細胞療法専用予約電話: 0120-75-5706

免疫細胞療法は保険外診療のため、保険診療との併用はできません。ご希望される方は事務員にお声掛けをお願いいたします。

※1 糖尿病代謝内科: 第3水曜日・第3木曜日は休診となります。ご注意ください。

※2 金曜日午後的小児思春期科小林良二医師は「長期フォローアップ外来」「セカンドオピニオン外来」も併せて担当しております。

◇ 都合により代診・休診となる場合がございますので事前にご確認をお願いします。

外来予約
電話受付

【平日のみ】午前 9時00分～12時00分 / 午後 13時30分～16時00分
予約専用電話 TEL 011-865-0201

注: 歯科の予約は011-865-0111(病院代表電話です)

編集後記

昨年はいろいろありましたね。スポーツ界のパワハラ問題、振袖事件、大地震など…

昨年の漢字は「災」でしたが、ほとんどの出来事は「人災」だったのではないでしょうか。
本年は新元号となります。明るい1年になると良いですね。(K・A)

 社会医療法人 北楕会 札幌北楕病院

診療科目

外科・肛門外科・消化器外科・腎臓移植外科・泌尿器科・内科・血液内科・消化器内科・腎臓内科・糖尿病代謝内科・循環器内科・小児思春期科・整形外科・麻酔科・放射線科・歯科

住 所 札幌市白石区東札幌6条6丁目5番1号

TEL: (011) 865-0111 FAX: (011) 865-9634

交 通 地下鉄白石駅5番出口から環状通り 北の方へ徒歩5分左手

ホームページ <http://www.hokuyu-aoth.org/>

